

令和4年度 厚生労働省母子保健指導者養成研修 研修4 性と健康の相談（プレコンセプションケア）に関する研修 実施要領

1. 研修の目的

令和3年2月に閣議決定された「成育医療等の提供に関する施策の総合的な推進に関する基本的な方針」では、「男女を問わず、相談支援や健診等を通じ、将来の妊娠のための健康管理に関する情報提供を推進するなどプレコンセプションケア（※）に関する体制整備を図る。」と記載されており、今後、性・生殖に関する正しい知見の普及や相談の場の提供等を推進する必要がある。本研修では、講義やグループワークをとおして、プレコンセプションケアに関する基礎知識等を習得し、性に関する正しい知識の普及啓発や性に関する相談の場の確保など、自治体におけるプレコンセプションケアの体制整備の推進に寄与することを目的とする。

※女性やカップルを対象として将来の妊娠のための健康管理を促す取組をいう。

2. 主催者

厚生労働省（実施団体：株式会社日本総合研究所）

3. 対象者

- ・都道府県・市区町村母子保健担当者
- ・性と健康の相談センター事業※担当者及び自治体の委託を受けている事業実施施設職員
- ※女性健康支援センター事業や不妊相談センター事業を組み替えたもの

4. 実施形態

ライブ配信形式とオンデマンド配信形式で実施する。

1) ライブ配信形式

- ・オンライン（Zoom）での実施とし、50名の参加者を募集する。
- ・行政説明、講義、事例発表の様子をリアルタイムで配信するとともに、ブレイクアウトルーム機能を利用してグループワークを行う。

2) オンデマンド配信形式

- ・ライブ配信時に撮影した映像を編集し、特設サイトにおいて配信する。
- ※グループワークはオンデマンド配信なし。

5. 実施日時及び配信期間

- ・ライブ配信日時：令和4年9月26日（月）
- ・オンデマンド配信期間：令和4年10月11日（火）～11月10日（木）

6. ライブ配信プログラム

	研修プログラム	講師	時間	プログラムの内容
①	行政説明 母子保健行政の動向	厚生労働省 子ども家庭局 母子保健課	9:30～ 10:00	最近の母子保健行政の動向
②	講義 妊娠前の健康管理	国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター 母性内科 診療部長 荒田 尚子 氏	10:05～ 11:05	妊娠前からの健康管理の必要性やその具体的内容について
③	講義 乳幼児期から思春期の性に関する相談支援	都立松沢病院精神科／ 国立成育医療研究センター 総合診療部 阪下 和美 氏	11:10～ 12:10	乳幼児期から思春期までの発達を踏まえたプレコンセプションケアの必要性と相談支援の方法について
④	講義 様々な年代のプレコンセプションケアを考える ～児童相談所が関わる事例から～	大阪府中央子ども家庭センター 仁木 敦子 氏	13:00～ 14:00	児童相談所で関わる事例から、様々な年代の性に関する課題と性教育の実際等を紹介する
⑤	事例紹介 母子保健推進協議会から生まれた「生と性のカリキュラム」 ～心豊かにいきいきと生きる力を持つ子どもの成長につなげていくために～	愛知県小牧市保健センター 所長 野口 弘美 氏	14:05～ 14:50	「生と性のカリキュラム」について、その取組のきっかけや具体的内容を紹介。
⑥	グループワーク 効果的かつ実施可能なプレコンセプションケア・キャンペーンを考える	(ファシリテーター) 都立松沢病院精神科／ 国立成育医療研究センター 総合診療部 阪下 和美 氏	15:00～ 17:00	公衆衛生的介入を行う方法のひとつに「キャンペーン」がある。乳児期から思春期までのプレコンセプションケアについて、具体的にどのように情報発信していくか、対象と手段を考えながら、グループでアイデアを出し合い、実際にキャンペーンを作成する。

※ライブ配信のみグループワークを実施。オンデマンド配信では、①～⑤までを編集し配信

※当日、質疑応答は行いません。